

タイにおける図書館情報学教育

Pimrumpai Premsmit

(チュラロンコーン大学文学部図書館学科)

歴史的背景

タイにおける図書館学教育はチュラロンコーン大学で 1951 年に始まった。フルブライト基金の援助を得て図書館管理のための特別プログラムが開設され、5 年間にわたって米国人教授 5 人が順次 6 科目を講義したものである。

チュラロンコーン大学文学部図書館学科は 1955 年に設立され、学位を授与する図書館教育機関の第一号となった。同学科の目標は司書職の地位を高めること、各種図書館に十分な教育を受けた司書を提供すること、図書館の蔵書を利用する教育プログラムを支援することであった (Suthilak Ambhanwong 1964: 6)。

最初の科目は 1957 年に文学部 1 年生に課された「図書館利用法」であった。2 年後には 3 ~ 4 年生対象の本格的な図書館学コースが開設された。1964 年には図書館学修士コースが設置され、そのカリキュラムは米国の大学院コースに準じ、タイのニーズに合わせて改変を加えたもので、図書館史や図書館管理などの理論的科目と、目録・分類法、レファレンスサービスなどの実践的科目とを含んでいる。当時このプログラムの顧問であった米国の Frances L. Spain 教授は、大学院レベルの図書館教育によってタイにおける図書館を発展させ方向づける上で司書が寄与することが可能になったと述べている (Spain 1964: 1)。

いま一つの大学院レベル教育として、1965 年にプラサンミット校(現シリナカリンウィロート大学)に図書館学上級認定コースが開設された。これは学士号取得後 1 年間のプログラムで、学校司書の養成を目的とし、図書館学概論、理論および技術、図書館サービス実習の 3 科目から成っている (Supat Songsangchan 2003)。

LIS 教育プログラム

学部レベルのプログラム

爾来 50 年間に図書館情報学教育は進歩・拡大を重ね、現在では 15 以上の大学が学士・修士・博士レベルの図書館情報学プログラムを開設している。

情報専門家に対する最初の学位は学士号であり、大部分の大学がそのためのプログラムを設けているが、その名称は区々である。5 大学(チュラロンコーン、ラームカムヘン、チェンマイ、スラナリー工大、タイ商工会議所大)は情報学士を授与し、コンケン、マハサラカン、スコタイ・タマティラートの各大学は文学士情報学専攻、シリナカリンウィロート、プラパ、タマサート各大学は文学士図書館情報学専攻、シラパコーン、トゥラキット・バンディット大学は文学士情報図書館学専攻、プリンス・オブ・ソククラ、ワライラック大学は文学士情報管理専攻の学位を授与している。

表 1: 図書館情報学の学位名と必要クレジット数

| 大学名 | 提供する学位 | LIS / IS のクレジット数* | | |
|--|--|-------------------|----|----|
| | | 必須 | 選択 | 合計 |
| <u>State</u> | | | | |
| Burapha University | B.A. (Library and Information Science) | 38 | 12 | 50 |
| Chiang Mai University | B.A. (Information Studies) | 36 | 24 | 60 |
| Chulalongkorn University | B.A. (Information Studies) | 24 | 30 | 54 |
| Khon Kaen University | B.A. (Information Science) | 36 | 33 | 69 |
| Maharakham University | B.A. (Information Science) | 60 | 15 | 75 |
| Prince of Songkla University | B.A. (Information Management) | 60 | 24 | 84 |
| Ramkhamhaeng University | B.A. (Information Studies) | 30 | 30 | 60 |
| Silpakorn University | B.A. (Information and Library Science) | 30 | 27 | 57 |
| Srinakharinwirot University | B.A. (Library and Information Science) | 36 | 27 | 63 |
| Sukhothai Thammathirat Open University | B.A. (Information Science) | 66 | - | 66 |
| Suranaree University of Technology | B.I.S. (Information Studies) | 30 | 36 | 66 |
| Thammasat University | B.A. (Library and Information Science) | 38 | 30 | 68 |
| Rajabhat University | B.A. (Library and Information Science) | 24 | 44 | 68 |
| Walailuk University | B.I.S. (Information Management) | 52 | 21 | 73 |
| <u>Private</u> | | | | |
| Dhurakijpundit University | B.A. (Information and Library Science) | 42 | 16 | 58 |
| The University of the Thai Chamber of Commerce | B.A. (Information Studies) | 39 | 18 | 57 |

学部レベルの教育の使命は図書館情報学分野の専門家の養成であり、卒業生は官民各部署での就業に十分な能力を有することが期待されている。

学部レベルのプログラムで開講されている科目には下記のようなものがある。

* カリキュラムの構成によって異なり、基礎的コース、補完的主題のコース、および他の選択科目を含まない。

- 情報と社会 / 社会的文脈における情報
- 情報源
- コレクション構築 / 情報資源開発
- 情報サービス / 情報のサービスと普及
- 情報サービスにおけるコミュニケーションとマーケティング
- 情報技術 / 情報関連職業のための技術
- 図書館・情報センター管理 / 情報機関管理 / 情報組織管理
- 情報の保存と検索
- 調査研究
- 情報学入門
- 知識の組織化
- 情報利用者の行動
- 情報源分析 / 情報分析
- レファレンス資源
- 索引と抄録
- 情報システム開発
- 電子ライブラリー
- データベース開発 / データベースの設計と開発

大学院のプログラム

修士課程

1964年にチュラロンコーン大学で大学院レベルの図書館学教育が開始されて以後、修士課程は10大学に設置されている。その大部分では文学修士図書館情報学専攻の学位を授与しているが、スコタイ・タマティラート公開大学では文学修士情報学専攻を授与している。大学院レベルのプログラムの大部分は論文課程であるが、非論文課程を併設している大学もある。タマサート大学は現在カリキュラムの改訂作業を行っており、論文課程・非論文課程併設となる予定である。

修士課程のカリキュラムは構造的にも内容的にも多様である。チェンマイ、コンケン、マハサラカン、シリナカリンウィロートの4大学では論文課程(プランA)と非論文課程(プランB)を併設している。非論文課程の学生は自由研究を行わなければならない。

すべてのプログラムにおいて、情報専門職の基本的能力としての技術的知識および技能の必要性が認められている。必修科目としては下記のようなものがある。

- 図書館情報学概論
- 情報学
- 情報メディア組織論上級
- 分類および目録法上級

表 2: 修士プログラムの名称と必要単位数

| 大学名 | 提供する学位 | LIS / IS のクレジット数 | | | | |
|--|---|------------------|----|----|-----|----|
| | | 必須 | 選択 | 論文 | その他 | 合計 |
| Burapha University | M.A. (Library and Information Science) | 18 | 12 | 12 | - | 42 |
| Chiang Mai University | M.A. (Library and Information Science) (Plan A) | 18 | 6 | 12 | - | 36 |
| | M.A. (Library and Information Science) (Plan B) | 18 | 12 | - | 6 | 36 |
| Chulalongkorn University | M.A. (Library and Information Science) | 15 | 15 | 12 | - | 42 |
| Khon Kaen University | M.A. (Library and Information Science) (Plan A) | 22 | 6 | 12 | - | 40 |
| | M.A. (Library and Information Science) (Plan B) | 22 | 14 | - | 4 | 40 |
| Mahasarakham University | M.A. (Library and Information Science) (Plan A) | 19 | 9 | 12 | - | 40 |
| | M.A. (Library and Information Science) (Plan B) | 19 | 15 | - | 6 | 40 |
| Prince of Songkla University | M.A. (Library and Information Science) | 22 | 14 | 9 | - | 45 |
| Ramkhamhaeng University | M.A. (Library and Information Science) | 21 | 9 | 12 | - | 42 |
| Srinakharinwirot University | M.A. (Library and Information Science) (Plan A) | 21 | 9 | 12 | - | 42 |
| | M.A. (Library and Information Science) (Plan B) | 21 | 15 | - | 6 | 42 |
| Sukhothai Thammathirat Open University | M.A. (Information Science) | 15 | 10 | 15 | - | 40 |
| Thammasat University | M.A. (Library and Information Science) | 18 | 15 | 9 | - | 42 |

- 図書館・情報センター管理上級 / 情報機関管理上級
- 研究
- 統計学
- 図書館情報学の技術 / 情報・管理技術 / 情報技術
- 情報検索
- 記録管理

この他に特に言及すべきものとして、チュラロンコーン大学図書館学科で 1989 年に開始された図書館情報学上級修了証書プログラムがある。これは図書館学ないし図書館情報学の修士号取得者を対象とした 1 年の課程であるが、現時点では一時的に学生募集を中断している。私立の国際的高等教育機関であるアジア工科大学では情報管理の修士課程および博士課程を開設している。

博士課程

タイ最初の博士課程は 2003 年にコンケン大学に開設され、学位名は哲学博士情報学専攻となっている。カリキュラムは管理のための知識の統合、情報・コミュニケーションおよび技術 (ICT)、社会的知識が中心となっている。卒業生は管理、ICT、ナレッジマネジメントおよび情報管理、研究の能力を有することが期待されている。48 単位の学位論文と 9 つの聴講科目を要求するプラン A と、36 単位の学位論文、9 単位の必修科目および 9 つの聴講科目を要求するプラン B があり、プラン B の必修科目には下記がある。

- 論文作成法
- 情報学研究法および統計学
- ICT に関するゼミナール

認定制度

図書館情報学教育は学部内の学科のレベルで行われており、カリキュラムの構造はそれが属する教育機関の方針によって規定されている。LIS カリキュラムの承認は、母体教育機関が文部省の高等教育委員会との協議のもとに行っている。

職能団体 (タイ図書館協会、TLA) が公教育制度に影響する点での役割は他国の同様な団体の場合とは大きく異なり、LIS 学科の認定には関与しないが、LIS 学科と並んである程度の責任を負っており、特に情報専門家のための職能開発、継続教育には LIS 学科と共同で当たっている。

情報専門家の求人状況

タイにおいては図書館情報学科の卒業生は情報専門家の大多数を占めているものと考えられる。チュラロンコーン大学図書館学科が行った人材需要および計画に関する調査(1995

年)によれば,情報専門家の職種名は18種あり,司書,情報専門家,学芸員,情報管理者,研究者,視聴覚資料専門家,コンピュータシステム専門家などが含まれる。同調査によれば官民を通じて「司書」という職名が最も多く見出されるが,調査対象機関の勤務者としては司書は第3位である。情報専門家の多くは教育機関に奉職している。またこの調査には向こう3年間の人材需要も含まれており,最も需要の多いのは「コンピュータシステム専門家」と「司書」であった。

司書の主要な就職先は政府関係であり,大部分は公務員となっている。タイの公務員には11段階の職位があり,最低限の学位(学士号)を持つ者の初任職位はレベル3である。司書がレベル3の職位に任命されるためには図書館学,図書館情報学または情報学の学士号を持たなければならない(Charuvarn Sindusopon 1999: 86)。1992~1996年度の図書館情報学科卒業者の状況の調査(Kanyarat Dadphan 1999)では,卒業者の大部分が大学図書館の司書となっている。学士はほとんどが民間に就職しているのに対して,修士の大部分は官庁勤務である。

図書館学科では人材市場の要求の多様化を認識しており,官民両セクターの就業に対応できる技能・能力を持つ卒業生を育成するようカリキュラムを整備しつつある。また情報専門家を雇用している各種機関の評価や意見を考慮したカリキュラムの改訂を進めている大学も少なくない。

継続教育

図書館学教育機関の重要な役割の一つは既に就業している人々を支援する継続教育である。職域開発は情報専門家自身の責任でもある。

重要な活動の一つは公教育機関で上位の学位を取得することである。LIS学科には,既に経験のある職業人に,その必要とする能力を与えることが要求される。その他にもLIS学科が主催する短期課程,ワークショップ,セミナーなども有職者が新しい技術・技能や新しい考え方を身につける上で有効である。

職能団体も優秀な職業人を育成する責任があると考えられている。TLAは司書の支援と能力向上,図書館教育,文化活動のほか,全国の図書館施設の拡大と職域開発を目標として掲げている。TLAの年次大会は専門家の交流の機会となっており,またTLAの学術部門は学術サービスとその普及を使命としている。

継続教育は情報専門家自身から始まる。特定の技術・技能のニーズを把握するのはまず専門家自身でなければならない。LIS教育機関も職能団体もこれを前提として職域開発を支援することになる。

職業が様々な変化や挑戦に対応して新しい世界へ進出しようとしているとき,教育機関も職能団体も強力なリーダーシップを取ることが必要なのは言うまでもない。

結語

2005 年は図書館情報学教育の発足から 50 周年に当たる。教育者は教育プログラムの改訂、改善、強化の努力を続けており、学部レベルでも大学院レベルでも新しいプログラムが登場している。次世代の教育者を育成することを目的とする初めての共同博士課程も開設された。図書館学教育機関すべてがタイ社会に最適なカリキュラムを提供すること、ニーズに応え得る有能な情報専門家を育成することに努めている。

参考文献

- Charuwan Sindusophon. "Status of Thai Librarians in Society." In *Libraies and Libraianship in Thailand: From Stone Inscription to Microchips*, 84-92. Bangkok: IFLA'99 National Organizing Committee, 1999.
- "Information Professionals: Manpower Study and Planning-Progress Report." Bangkok: Department of Library Science, Chulalongkorn University, 1995. (in Thai)
- Kanyarat Dadphan. "The Work Status of Library and Information Science Graduates." Master's Thesis, Chulalongkorn University, 1999.
- Spain, Frances Lander. "Graduates Education in Library Science." In *Librarian 2507*, 1-5. Bangkok: Department of Library Science, Chulalongkorn University, 1964.
- Supat Songsaengchan. "The Development of Library and Information Science Education at Department of Library Science, Srinakharinwirot University." *Domthat* 24, 1 (July-December 2003): 31-44. (in Thai)
- Suthilak Ambhanwong. "Library Education at Chulalongkorn University." In *Librarian 2507*, 1-5. Bangkok: Department of Library Science, Chulalongkorn University, 1964.

Pimrumpai Premsmit 先生略歴

Pimrumpai Premsmit 先生は、チュラロンコーン大学文学部より優等学士を取得し、奨学金を得て米国に留学し、マサチューセッツ州ボストン市のシモンズカレッジより、図書館情報学分野の科学修士および文学博士を取得した。

Premsmit 先生は現在、チュラロンコーン大学文学部図書館情報学部で教鞭をとっている。これまでに、同大学文学部の学術担当ディーン(1998-2000)、計画立案ディーン(2000- September 2004)を歴任した。現在は、チュラロンコーン大学図書館情報学科の学科長である。Premsmit 先生の研究業績には、情報管理、情報システム、図書館情報学教育、学術図書館の戦略計画、および電子図書館に関する幾つかの論文がある。現在の研究関心は、大学図書館におけるリーダーシップおよびケーススタディである。

Premsmit 先生は、タイ図書館協会の会員で、現在は学術タスク委員会に参画している。以前は同協会の常任理事として、学術部門の委員長を担当した(1993-1994)。Premsmit 先生は、1999年にバンコックで開催された第65回IFLA大会の組織委員会メンバーとして、ボランティアサービス小委員会の会長を務めた。